

# 商学研究科 教員プロフィール

※2022年度 I 期・学内選考入試で  
学生を募集する先生の情報のみ  
掲載しております。

# 索引

- 經濟系列 . . . . . p.1
- 商業系列 . . . . . p.7
- 經營系列 . . . . . p.13
- 會計系列 . . . . . p.16
- 金融・証券系列 . . . . . p.23
- 保險系列 . . . . . p.27
- 交通系列 . . . . . p.29
- 貿易系列 . . . . . p.31

## 商学研究科 教員情報

＜経済系列＞

氏名	千田 亮吉 (ちだ りょうきち)	
担当専修科目	前期課程:「経済理論特論」「経済理論特論演習」 後期課程:「経済理論特殊研究」「経済理論特殊演習」	
研究テーマ	経済主体の期待形成と経済政策の有効性に関するモデル分析	
研究指導領域	経済理論の検証および理論に基づく経済モデルを用いた政策の評価などを主に扱う。具体的な経済モデルとしては、フォワードルッキング型マクロ計量経済モデル、動学的確率的一般均衡モデル、動学的離散選択モデルなどがある。また、これらのモデルのパラメータの推定など計量経済分析に関わる問題も扱う。また、マイクロデータを用いた実証分析、特に個票データを用いた家計行動の分析や財務データを用いた企業行動の分析も扱う。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フォワードルッキング型マクロ計量経済モデル</li> <li>・動学的確率的一般均衡モデル</li> <li>・動学的離散選択モデル</li> <li>・家計の最適化動向</li> <li>・企業の最適化行動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイクロ計量経済学</li> <li>・政策評価</li> </ul>
志願者への メッセージなど	特定の分野は限定せず、経済理論をどのように実際の政策評価などに応用できるかという点を重視しています。学部レベルのマイクロ経済学、マクロ経済学、計量経済学の知識は前提としますが、これらの科目が未履修ないしは知識が不十分な場合は、基礎的な部分から講義等で解説します。実証分析に欠かせないデータの収集や整理等を根気よく行うことも重要です。	

## 商学研究科 教員情報

＜経済系列＞

氏名	水野 勝之 (みずの かつし)	
担当専修科目	前期課程:「計量経済学特論」「計量経済学特論演習」 後期課程:「計量経済学特殊研究」「計量経済学特殊演習」	
研究テーマ	経済指数と経済理論	
研究指導領域	<p>経済指数と経済理論の組み合わせにより新たな経済分析を生み出すことをテーマに据えたい。経済指数は経済指数、経済理論は経済理論、というように分離されて運用されていたが、その両者をリンクさせることにより、消費や生産理論において新たな理論展開ができる。その展開をもとに各種の応用と実証分析を行ってきた。研究指導としては、こうした背景をもとに、消費理論の再検討と、その応用、実証までを範囲としたい。生産理論も視野に入れる。</p>	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済指数</li> <li>・地域研究</li> <li>・経済変動モデル</li> <li>・H. タイルのシステム・ワイド・アプローチ</li> <li>・ディビジア指数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フリッシュ指数</li> <li>・全要素生産性</li> <li>・質の指数</li> </ul>
志願者への メッセージなど	<p>まず分析に使う経済モデルであるが、これまで経済理論が前提としてきた硬直的な仮定をそのまま利用しては激動する経済変化に対応できない。既存の経済理論を一般化して、柔軟に分析できるようにしなければならない。この考え方を信条とし、消費分析や効用分析に当てはめて理論展開を行い、実証分析を行ってきた。</p> <p>志願者にも、既存の固定的な概念や手法にそのまま従うのではなく、それを打破して、より現実的な経済分析を行い、社会の役に立つような心構えを望む。そのために、研究のいろはを学び、それを応用展開できる力を身につけてもらいたい。</p>	

## 商学研究科 教員情報

＜経済系列＞

氏名	畑農 鋭矢（はたの としや）	
担当専修科目	前期課程：「財政学特論」「財政学特論演習」 後期課程：「財政学特殊研究」「財政学特殊演習」	
研究テーマ	財政赤字のマクロ経済的影響 状態空間モデルの経済学への応用 経済主体のディープ・パラメータの計測 世論形成メカニズムに関する実証研究	
研究指導領域	公共経済学の立場から公共部門の役割や財政運営について研究する。そのために必修の知識としてミクロ経済学、マクロ経済学、統計学・計量経済学、統計データの活用法について学習を進める。経済学の理論をベースにした実証研究の俎上に載るのであれば、狭義の財政学や公共経済学にとどまらず、周辺領域に関する研究についても歓迎する。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政赤字</li> <li>・財政運営</li> <li>・中立命題</li> <li>・状態空間モデル</li> <li>・カルマン・フィルタ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディープ・パラメータ</li> <li>・世論形成メカニズム</li> <li>・パネル・データ</li> <li>・応用計量経済学</li> </ul>
志願者への メッセージなど	<p>「勉強」と「研究」は似ていますが、細部はずいぶん異なるものです。勉強は地図のある旅、どこに行けばゴール(答え)にたどり着けるのか大体分かっています。学校の勉強など、ナビ付きの自動車で舗装された道路を走っているようなものです。</p> <p>研究は地図のない(答えのない)所に踏み込むかもしれない旅です。誰も行ったことのない、または行った人はいても既に忘れられている場所を探す未知の旅です。道がなければ造らなければならないかもしれません。明かりがなければ懐中電灯を持って行く必要があります。自らが造る道、自らが持つ明かりが、経済学の理論であり、計量経済学の道具です。</p> <p>道なき道を進むためには、できるだけ強力な明かりが欲しいはずですが、その明かりを得るために大学院での勉強がきっと役に立つに違いありません。</p>	

## 商学研究科 教員情報

＜経済系列＞

氏名	山田 知明（やまだ ともあき）	
担当専修科目	前期課程：「経済政策論特論」「経済政策論特論演習」	
研究テーマ	Heterogeneity in Macroeconomics	
研究指導領域	<p>動学的一般均衡理論に基づいて、様々な経済問題を定量的に分析する研究者を養成します。具体的なトピックとしては、経済格差やそれに伴う再分配政策、社会保障制度、健康保険制度などを想定しています。またマイクロデータを用いた家計の消費・貯蓄行動及び消費者行動の構造推計に対しても対象とします。</p>	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪Dynamic general equilibrium model with heterogeneous agents</li> <li>▪Consumption and savings</li> <li>▪Inequality</li> <li>▪Social security system</li> </ul>	
志願者への メッセージなど	英語と数学、プログラミングスキル(C・Fortran・Matlab・Python・R・Juia etc)を学んでください。	

## 商学研究科 教員情報

＜経済系列＞

氏名	高浜 光信（たかはま みつのぶ）	
担当専修科目	前期課程：「国際経済学特論」「国際経済学特論演習」 後期課程：「国際経済学特殊研究」「国際経済学特殊演習」	
研究テーマ	通貨統合，国際通貨の選択と国際通貨システム改革に関わる理論・実証分析	
研究指導領域	国際マクロ経済学に関する理論・実証分析。特に、共通通貨ユーロをめぐる、通貨統合の経済効果に関する理論・実証分析を中心に研究を行っている。その他、各国の国際収支構造の分析、国際間のマネーフロー、通貨投機のメカニズム、東アジアにおける金融協力や、通貨圏形成と各国間の国際貿易構造の関係、国際通貨の生成過程や国際通貨制度に関する史的過程等についても関心をもっている。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際マクロ経済学</li> <li>・国際通貨システム</li> <li>・為替レート動学</li> <li>・通貨統合</li> <li>・国際収支</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際資本移動</li> <li>・経済成長と国際貿易</li> <li>・国際通貨の選択</li> <li>・貨幣論</li> <li>・国際貿易論</li> </ul>
志願者へのメッセージなど	経済学の理論モデルに基づく考え方や実証手段の習得とともに、歴史や現実の制度に対して深い関心をもつ志願者を希望します。	

## 商学研究科 教員情報

＜経済系列＞

氏名	熊澤 喜章 (くまざわ よしあき)	
担当専修科目	前期課程:「中小企業特論」「中小企業特論演習」	
研究テーマ	日英における中小工業の歴史研究	
研究指導領域	<p>日本とイギリスの工業化過程における中小工業の役割を歴史的に研究する。世界で唯一、自生的な産業革命を経験し、大規模工業が成立したイギリスにおいても、その後の中小工業の執拗な残存が確認される。東洋の中で唯一、自力での工業化を達成した日本では、中小工業ははじめから資本主義発展の基盤として前提されていた。この両国の資本主義発展のなかにおける、中小工業の残存とその役割を、比較検討する。</p>	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業</li> <li>・中小工業</li> <li>・日本経済史</li> <li>・イギリス経済史</li> <li>・世界経済史</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本史</li> <li>・イギリス史</li> <li>・苦汗産業</li> <li>・下請制</li> <li>・下請工業</li> </ul>
志願者への メッセージなど	<p>19世紀以降の世界経済史の知識が、必須の知識として求められる。イギリスにはじまった工業化の波が、いかに世界に波及し、世界を変えていったかを理解すること。それは一方では富の蓄積となり、他方では貧困の蓄積となっていた。それぞれの世界的条件の下で、それぞれの国家は、それぞれがもつ歴史的規定性のもとで世界資本主義の枠組みのなかに組み込まれていく、その過程を解き明かしたいという好奇心が必要である。</p>	



## 商学研究科 教員情報

＜商業系列＞

氏名	竹村 正明 (たけむら まさあき)	
担当専修科目	前期課程:「商業理論特論・演習」 後期課程:「商業理論特殊研究・演習」	
研究テーマ	お金儲けをするのは、なぜ難しいのかについての理論的研究 Theoretical understanding on business: Why business does not work we expected?	
研究指導領域	I can contribute your academic carrier by mainly two scientific procedures. The first one is the emprical study. I have conducted several emprical studies in my academic carrier, not only survey, but also field work. I call both as emprical studies. Only emprical study, I recognize the task in university. The second one is methodologies. I believe that methodological diversification is acceptable in the university research. Any method will be accepted, if it could be said it was scientific.	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▪Competitiveness</li> <li>▪Competitives Strategy</li> <li>▪Economic Growth</li> <li>▪Methodology</li> </ul>	
志願者への メッセージなど	There is no opportunity in which only study you can during your academic carrier, except studying in graduate school. Study, study, study. Again study. Only study hard. Nothing else.	

## 商学研究科 教員情報

＜商業系列＞

氏名	菊池 一夫（きくち かずお）	
担当専修科目	前期課程：「商業経営論特論」「商業経営論特論演習」 後期課程：「商業経営論特殊研究」「商業経営論特殊演習」	
研究テーマ	小売業経営、卸売業経営の研究	
研究指導領域	研究指導領域としては小売業経営、卸売業経営における諸課題をマーケティング論の研究視点から解決することを目指している。具体的には、小売業の国際化、小売業同士の合併、通信販売のしくみ、卸売業によるリテールサポートの有効性、PB商品の台頭などが挙げられる。また同様にサービス・ビジネスの観点から小売業経営を捉え直す研究も行っている。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小売経営</li> <li>・卸売経営</li> <li>・小売主導型物流戦略</li> <li>・サービスマネジメントとして捉えた小売業</li> </ul>	
志願者への メッセージなど	本研究室は研究者志望の方を望んでいます。小売業経営、商店街、ショッピングモールや、卸売業、フランチャイズ・システムなどに関心のある方が対象です。社会に発生するマーケティング課題を解決するために、学問の発展を担っていく人物を求めます。つまり、社会に生じている諸問題に常に目を配りながら、これまでの学問の成果を十分に確認していく作業が求められます。	

## 商学研究科 教員情報

＜商業系列＞

氏名	高橋 昭夫（たかはし あきお）	
担当専修科目	博士前期課程:「商品学特論」「商品学特論演習」 博士後期課程:「商品学特殊研究」「商品学特殊演習」	
研究テーマ	インターナル・マーケティングの研究, クオリティ・オブ・ライフとマーケティングの研究	
研究指導領域	研究指導ができる領域は、下記のキーワードに関連する領域です。2019年4月に入学した博士前期課程1年生は2名で、それぞれ、ブランド・コミュニティとブランドロイヤルティを研究しています。また、2年生も2名で、それぞれクチコミとマーケティング戦略を研究しています。現在、博士後期課程の学生はおりません。研究テーマは、自ら決定してもらいます。研究の進め方は、まず研究テーマに関する先行研究を整理し、次に研究目的にそった仮説を構築します。そして、データを収集し、統計ソフトを用いて解析をして、仮説の検証を行います。そして、最後に、論文として執筆します。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド・マーケティング</li> <li>・サービス・マーケティング</li> <li>・商品開発</li> <li>・小売マーケティング</li> <li>・消費者行動(顧客満足など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティング・コミュニケーション</li> <li>・リレーションシップ・マーケティング</li> <li>・ツーリズム・マーケティング</li> <li>・知覚品質</li> <li>・商品の安全性とリサイクル</li> </ul>
志願者への メッセージなど	これまでの卒業生の就職先としては、製造業・流通業・サービス業・大学(教員)などです。高橋昭夫著『インターナル・マーケティングの理論と展開: 人的資源管理との接点をもとめて』同友館 を読んでもらえれば、この研究室の研究の進め方が、ある程度、理解できると思います。	

## 商学研究科 教員情報

＜商業系列＞

氏名	若林 幸男（わかばやし ゆきお）	
担当専修科目	前期課程：「日本流通史特論」「日本流通史特論演習」 後期課程：「日本流通史特殊研究」「日本流通史特殊演習」	
研究テーマ	商品（一般消費財）の流通のみならず，産業財（資金や労働力）の流通史，又，情報の流通史について主に研究している。	
研究指導領域	本科目は流通およびマーケティングあるいはビジネス（企業）のケースを取り扱う。そこで展開するトピックはアメリカのビッグビジネス、日本のそれ、あるいは流通システムや企業システムそして、基礎にある資金や労働市場、情報システムの特性である。複雑に絡み合うこれらの諸テーマを科学的に分析、解析し、将来の展望につなげるための研究指導が行われることとなる。	
キーワード （10個以内）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流通事業と流通システムの史的展開</li> <li>・企業システムの史的展開</li> <li>・情報の流通経路の発展と企業システムの関連</li> <li>・労働市場の特性と企業のリクルートシステムの変遷</li> <li>・企業戦略についてのケーススタディ</li> </ul>	
志願者への メッセージなど	マーケティング分野では、本研究室はマクロマーケティング部門に位置づけられるが、マネジリアルマーケティングのケースメソッドについても分析領域が及ぶ。歴史的、文化的に事象を相対化する手法を学び、それにより過去の分析から将来の展望を導き出す。こういった方法に興味をもって取り組んでほしい。	

## 商学研究科 教員情報

＜商業系列＞

氏名	原 頼利 (はら よりとし)	
担当専修科目	前期課程:「流通システム論特論」「流通システム論特論演習」	
研究テーマ	流通における組織間関係に関する研究	
研究指導領域	サプライヤーから小売業者に至るまでのビジネス・プロセスにおける企業境界、組織間コーディネーション、組織間知識共有、知識やイノベーションの創造などの問題に関心をもっており、講義ではこれらの問題を扱う。	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流通チャネル</li> <li>・組織間関係</li> <li>・企業境界</li> <li>・制度</li> <li>・取引コスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケイパビリティ</li> <li>・イノベーション</li> <li>・知識共有</li> </ul>
志願者へのメッセージなど	講義では、最新の学術論文(主に英文)を使って、ディスカッションを行なう。教員と同じ研究領域を共有でき、積極的にディスカッションに参加できる学生を歓迎する。	

## 商学研究科 教員情報

＜商業系列＞

氏名	福田 康典（ふくた やすのり）	
担当専修科目	前期課程：「市場調査論特論」「市場調査論特論演習」	
研究テーマ	市場における情報の生成と伝播、価値共創空間としての市場のモデル化、マーケティング・リサーチにおける倫理問題	
研究指導領域	<p>本研究室では、企業のマーケティング活動が展開される場としての市場とそれにかかわる様々な現象を理解しモデル化するための方法について学んでいく。特に、価値創造時点を基点とした市場概念への注目と方法論的個人主義からの脱却という近年のマーケティング研究に見られる2つの研究潮流を意識しつつ、これに対応した市場のモデリング方法の確立を目指して、種々のリサーチ技法やその根底にある科学哲学に関する検討を行っていく。また、マーケティング・リサーチにかかわる様々な倫理問題とそれを分析するための理論的枠組みについても考えていく。</p>	
キーワード (10個以内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市場調査／マーケティング・リサーチ</li> <li>・市場の動態性</li> <li>・調査技法</li> <li>・科学哲学</li> <li>・社会的プラクティス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・価値創造、価値共創</li> <li>・ビッグデータ</li> <li>・多変量解析</li> <li>・テキストマイニング</li> <li>・リサーチ倫理</li> </ul>
志願者への メッセージなど	<p>市場は物理的な存在ではありません。それはマーケティングに関わる様々な現象を理解するために生み出された構成概念です。したがって、マーケティングの理論体系の変遷を通じて、その捉え方も変化してきています。しかも、単純な目や耳での観察では捉えにくい心理学的な次元や社会的な次元によって主に構成されています。そうした意味で、市場をありのままに理解する唯一無二の方法が存在するという素朴な考え方では行き詰まってしまいます。リサーチ方法の選択が見える市場の姿を規定するという側面を常に意識し、試行錯誤をしながら様々なリサーチ方法論の特徴と問題点を学んでいきましょう。そうした知識は、研究者として、あるいは実務家として、市場に関連した現象を理解する際の基盤になるでしょう。</p>	